

# 令和2年度の取り組みについて

## 1 ひきこもりの人の実態把握

- 新** ひきこもり実態把握調査の実施
  - 県内で活動する民生委員・児童委員の方を対象にアンケート調査を実施 詳細は、資料「実態把握1」を参照



## 2 相談支援

- 拡** ひきこもり地域支援センター
  - 市町村、医療、保健、福祉等関係機関の連携強化を図りながら、ひきこもりの人やその家族等の支援を実施
  - 体制の拡充による地域支援のさらなる強化【R2年度：職員を2名増員】
  - 市町村等におけるケース会議等でスーパーバイズの展開
  - ひきこもり支援者連絡会議による関係機関の連携体制の充実【R2年度：全体会1回、ブロック会3回開催※予定を含む。】
  - 市町村等の支援者を対象とした支援の技法等の研修の充実【R2年度：3回開催予定】

- 新** ピアサポートセンターの設置
  - ひきこもり経験者がサポーターとなって相談支援を行う、ひきこもりピアサポートセンターを開設（KHJ全国ひきこもり家族会連合会高知県支部やいろ鳥の会に委託）
  - 対面による相談、電話相談、Web相談を実施
  - 必要に応じてアウトリーチ型支援も実施

相談窓口別（件）				合計
対面相談	電話相談	Web相談	訪問相談	
36	71	23	25	155

- 新** 生活困窮者自立相談支援機関
  - アウトリーチ支援員の配置による人員体制の強化【R2年度：10月から3町の自立相談支援機関に配置予定】

## 3 社会参加に向けた支援

- ひきこもり地域支援センターにおける「青年期の集い」の実施【R2年度：毎週水曜日開催】
- 民間団体（家族会等）の設置する居場所への支援
  - KHJ全国ひきこもり家族会連合会高知県支部やいろ鳥の会（高知県）
  - NPO法人高知県生涯学習支援センター（高知市）
  - NPO芸農人（黒潮町）
  - 集いの広場なないろ（宿毛市）
- ひきこもり者等就労支援コーディネーターの配置
  - 就労支援コーディネーターを配置し、ひきこもりの人の個々のニーズに応じた就労支援を実施（NPO法人ブルースターに委託）
  - 就労体験等の受入先となる企業等の開拓
  - ひきこもりの人の就労体験等の受入先とのマッチング
  - 職業能力開発上の課題の把握及び適切な支援の継続
  - 自立相談支援機関（就労訓練）等の支援関係機関との連携【R2.4~7月実績】

※体験者・利用者は、1人につき月数回利用がある。

見学者（累計）	訪問者数（累計）	体験者数（累計）	利用者数（実数）
7人	2人	6人	4人

- 農福連携の推進
  - 福祉分野と農業分野の相互理解の促進
  - 安芸市での取り組みの標準化と横展開の実施
  - 定着支援を行うことのできる人材の確保、育成【R2年3月時点従事者数（障害者等）】400人



- 新** 就労訓練（中間的就労含む）の受入事業主への助成制度の創設
  - ひきこもり等の利用者を受け入れる認定就労訓練事業所への助成により、事業者の負担を軽減【県内の認定状況（R2.9.1現在）】
    - 高知県認定：6箇所
    - 高知市認定：5箇所

